

参考書	隨時紹介する。
-----	---------

参考書	
-----	--

参考書	
-----	--

参考書	
-----	--

参考書	
-----	--

参考書	
-----	--

参考書	
-----	--

教科書	特になし
参考書	初回授業時に発表する

教科書	特になし
参考書	初回授業時に発表する

教科書	特になし
参考書	初回授業時に発表する

教科書	特になし
参考書	初回授業時に発表する

科目区分	キャリア系列／キャリア・ビジネス教育系列					
科目名	ホスピタリティ・マネジメント					
担当教員	土肥 伊都子・鶴北 千草					
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2~3	単位数 2.0
授業のテーマ	ホスピタリティの探求と発揮					
授業の概要	<p>ホスピタリティを様々な角度から取り上げ、これから産業におけるホスピタリティの重要性を理解し行動につなげる。</p> <p>現代は様々な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。この授業では、エアライン、ホテル、飲食業のサービスや仕事などを題材に取り上げながら、ホスピタリティが生み出す価値の重要性について広く考察していく。また、授業を通じて受講生がホスピタリティの概念について考え、創造できるようになることを目指す。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 現代の日本社会において、ホスピタリティの意味と果たす役割を理解することができる。 ホスピタリティが生み出す要素を理解できる。 ホスピタリティの概念を理解し、実際に発揮できる。 					
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：授業履修にあたっての説明 概要説明</p> <p>第2回 ホスピタリティの原義：ホスピタリティの語源 ホスピタリティとサービスの比較</p> <p>第3回 ホスピタリティと人間：ホスピタリティの起源、他者理解</p> <p>第4回 ホスピタリティと文化：ホスピタリティの文化的差異 地域のホスピタリティ</p> <p>第5回 ホスピタリティと産業Ⅰ：日本のおもてなしを考える</p> <p>第6回 ホスピタリティと産業Ⅱ：エアラインにおけるホスピタリティ ~ANA~</p> <p>第7回 ホスピタリティとチームワーク：チームワークの重要性 チームの力と個人の力</p> <p>第8回 ホスピタリティを伝える基本Ⅰ：ホスピタリティとコミュニケーションの関係</p> <p>第9回 ホスピタリティを伝える基本Ⅱ：異文化コミュニケーションを考える</p> <p>第10回 言葉で表すホスピタリティ：敬語表現の基礎 社会で活用できる表現</p> <p>第11回 表現力Ⅰ：非言語コミュニケーションの重要性 表情が与える印象とは</p> <p>第12回 表現力Ⅱ：ホスピタリティを伝える行動様式 立ち居振る舞い</p> <p>第13回 事例研究Ⅰ：リツツカールトンに学ぶホスピタリティ</p> <p>第14回 事例研究Ⅱ：東京ディズニーリゾートのホスピタリティ</p> <p>第15回 まとめ：全体のまとめと振り返り レポート作成</p>					
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業後学習：配付資料を読み、復習すること。</p> <p>最終的には理解した内容を実生活に取り入れることに繋げるため、毎回の授業を理解し実際に行動化することが大切である。</p>					
授業方法	<p>パワーポイントを使用し講義を行う。</p> <p>また、授業後半部分はグループワークや実習を行うため各人の積極的な授業参加を期待する。</p>					
評価基準と評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 小レポート40%、第15回まとめレポート20%、授業参加態度・出席40%とし、総合的に判断する。 欠席は5回までとし（遅刻含む）、それ以上は失格となるため各自で留意しておくこと。 					
教科書	テキストは使用しない。毎回レジュメを配付するので各自でファイリングし授業に持参すること。					
参考書						

